

赴任旅費入力情報整理表

所 属			
職員番号		氏名	

- ① 配 属 先 の 内 示 日 ()
 ② 内 示 時 の 住 所 ()
 ③ 内示後の住所(現住所) ()

※②と③が同一の場合、③は同上と記入。この場合、④以降の記載は不要です。

- ④ 直採者(今春学校を卒業し、直ちに採用となった者)ですか(該当するものに✓)

☐ はい ☐ いいえ

- ⑤ 直採者の場合、県内に帰省先(父母の居住地)がありますか(該当するものに✓)

☐ ある ☐ ない

(ある場合の帰省先住所 :)

- ⑥ 内示時の住所の最寄鉄道駅はどこですか (駅)
 駅 ま で の 距 離 (km)
 駅までの主な交通手段 ()
 (例: 徒歩、自転車など。バスを利用する場合はバス停を下記に記載してください。)
 内示時の住所～駅までのバス停名 ()

内示日後の住所(現住所)の最寄鉄道駅はどこですか (駅)
 駅 ま で の 距 離 (km)
 駅までの主な交通手段 ()
 (例: 徒歩、自転車など。バスを利用する場合はバス停を下記に記載してください。)
 現住所～駅までのバス停名 ()

- ⑦ 扶養親族はいますか (該当するものに✓)

☐ いる ☐ いない

- ⑧ 扶養親族と職員が移転しましたか(⑦で” いる ”と回答した場合) (該当するものに✓)

☐ 一緒に移転した ☐ 移転しない

注1 表面「赴任旅費チェックシート」の区分c、d、fに該当する方は内示日以後の住所地の世帯全員の住民票《個人番号(マイナンバー)の記載のないもの》(コピー可・扶養親族含む)を、1部、添付してください。ただし、同シートの区分gにレ点を記した方は、集中化推進課で支給可と判断された場合のみ、後日提出してください。

注2 移転に航空機を利用した場合も、沖縄・離島等を除き、鉄道賃で計算した額を交通費相当額として支給しますので、「最寄鉄道駅」は記入してください。

赴任旅費チェックシート

<確認作業並びに必要な書類の作成等>

- 1 「赴任旅費チェックシート」により、赴任旅費の支給の有無を確認してください。
該当する【区分】の□にレ点を付けてください。
 - 2 確認の結果、【支給あり】に該当する場合（【区分】のc、d、fいずれかに該当）は、
「住民票（世帯全員分）（マイナンバーの記載がないもの）」を添付して提出してください。
- ※ 「住民票」は、**内示日以後の転居先のもの（転入日が内示日以降となっているもの）**を
1部提出してください。
(住居届等、他の手続きに住民票原本を提出する場合はコピーで構いません。)

	【転居の有無】	【帰省先の有無】	【転居先の区分】	【赴任旅費の支給の有無等】	【区分】	
新規採用職員	直採者※①	転居なし (内示日以後)		支給なし	<input type="checkbox"/> a	
		転居あり (内示日以後)	県内に 帰省先あり	帰省先へ転居 (父母の実家から 配属先へ通勤)	支給なし	<input type="checkbox"/> b
				帰省先以外へ転居 (賃貸住宅等から 配属先へ通勤)	【支給あり】※② ※「内示時居住地」又は「帰省先」 から「転居先」まで、いずれか近 い方の路程により支給	<input type="checkbox"/> c
			県内に 帰省先なし	採用に伴う転居 (賃貸住宅等から 配属先へ通勤)	【支給あり】※② ※「内示時居住地」から「転居先」 までの路程により支給	<input type="checkbox"/> d
	直採者以外	転居なし (内示日以後)		支給なし	<input type="checkbox"/> e	
		転居あり (内示日以後)		転居先から 配属先へ通勤	【支給あり】※② ※「内示時居住地」から「転居先」 までの路程により支給	<input type="checkbox"/> f
				※② 転居が自己都合による場合、 (注意書き※②の事例に該当) 「g」にレ点を付けてください。	<input type="checkbox"/> g	

(注意)

※①「直採者」とは、今春に学校を卒業し、直ちに採用となった者をいいます。

※②【支給あり】に該当する場合であっても、赴任旅費が支給されない場合があります。

以下に該当すると思われる場合、【区分】欄の「a～fの該当箇所」のほか、「g」にレ点を付けてください。
この場合、支給の可否は集中化推進課が判断するため、支給可と判断された後に住民票（個人番号の記載
がないもの）を提出してください。

(該当事例は次のとおり)

⇒ 結婚、住居の新築等による転居であり、配属先へ赴任するためのものと認められない場合

⇒ 内示時居住地、県内帰省先から配属先までの通勤距離が60km未満で、かつ通勤困難と認められない場合